

学園へのご寄付・ご支援について

昨年度の寄付金は総額で2,502,000円をご支援いただきました。皆さまの温かいご支援に感謝いたしますとともに厚く御礼申し上げます。

お寄せいただいた寄付金は、寄付者さまのご意思(用途区分)ごとに本学園が設置する千里金蘭大学、千里金蘭大学大学院、金蘭会高等学校・中学校および金蘭会保育園の奨学資金、研究資金、課外活動資金、施設・設備資金などに充当させていただきます。

令和5(2023)年に千里金蘭大学は創立20周年、令和7(2025)年に学園は創立120周年を迎えます。これまでの基本理念を継

承しつつ、現代社会のニーズにこたえ、生涯にわたる教育機関を目指すべく、それぞれの学びが一体となって、これからも新しい挑戦を続けてまいります。

昨今の厳しい経済情勢の折柄、誠に心苦しいお願いとは存じますが、引き続き、ご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

金蘭会学園 法人事務局 経理・財務部
TEL.06-6872-7703 FAX.06-6872-7707
本学園ホームページ「ご寄付のお願い」
[URL] <https://www.kinran.ac.jp/hojin/contribution/>

年間スケジュール(前期)

2023

4月	1日(土)	令和5(2023)年度入学式	6月	18日(日)	オープンキャンパス	8月	10日(木)	夏季一斉休業(8/10、14、15)
	3日(月)	オリエンテーション		7月	9日(日)		オープンキャンパス	13日(日)
	4日(火)	オリエンテーション	17日(月・祝)	祝日授業日	25日(金)	前期成績Web発表日(予定)		
	5日(水)	前期授業開始		21日(金)	前期最終授業日	9月	3日(日)	総合型選抜チャレンジAOI期
	23日(日)	オープンキャンパス		23日(日)	オープンキャンパス	15日(金)	保護者宛成績発送日(予定)	
29日(土・祝)	祝日授業日(大学院)	24日(月)	授業予備期間(7/24~7/28)	21日(木)	後期授業開始			
5月	2日(火)	学園創立記念日(118周年)/祝日授業日	31日(月)	専門科目、保育、教職科目調整期間(7/31~8/2)				
	28日(日)	オープンキャンパス						

※4月中旬現在の予定です。スケジュールが変更となった場合は、大学ホームページなどで適宜お知らせいたしますので、予めご了承くださいませようお願いいたします。



私の成長、きっとだれかのために。



- 01 学長メッセージ
- 02-04 学部・学科 MESSAGE
- 05 研究科 MESSAGE
- 06 部局 MESSAGE
- 07 ゼミ探訪 vol.16
- 08 クラブ紹介
- 09 学位授与式報告 / 入学式報告
- 10 新任教員紹介
- 11 学園へのご寄付・ご支援について
年間スケジュール(前期)

編集後記

千里金蘭大学は今年、開学20周年を迎えました。20歳前後の学生の皆さんとほぼ同じ年です。開学当初は生活科学部食物栄養学科の1学部1学科のみでしたが、20年を経た現在は3学部3学科に加え、大学院看護学研究科も始動しています。この節目の年が学生の皆さんにとっても「20年後、自分はこうありたい」と考えるためのいい機会になればと思います。

学長メッセージ

千里金蘭大学 学長
福嶋 教偉



新入生の皆さん、ご入学、まことにおめでとうございます。千里金蘭大学の建学の精神は、「学び、人の役に立つ」です。この精神は、金蘭会学園が120年近く前から受け継いできたもので、多くの女性が社会に出て活躍するようになった、まさに現代の日本にふさわしいものだと思います。また、本学は昨年大学院看護学研究科修士課程を開設し、今年が開学20周年を迎え、女性が社会で大きく活躍できる栄養、教育、看護の3学部体制として出発することになりました。本学は、皆さんが自分の知識や技術を高めたいという気持ちから自主的に学び、自分の夢を描き、さまざまな人と出会い、そして社会や人に役立てられるような女性を育成することを目指しています。具体的には、入学生の皆さんが、管理栄養士、保育士、幼稚園・小学校教員、看護師、保健師、助産師、さらには養護教諭、栄養教諭などのさまざまな資格を取得して、社会で活躍できるように教職員一同、皆さんの成長を支援していきたいと考えています。

入学式でもお伝えしたように、大学の入学が終着点ではなく、また資格を取得して就職することが終着点ではないと思います。皆さんが、どのような大学生活を過ごしたいか、どのような職業に就いて、どのように社会で活躍したいか、つまり自分がこれから何をしたいのか、じっくり自分の夢について考えてください。栄養、教育、看護は、すべて人を扱う学問です。ぜひ千里金蘭大学で、あなたの夢を見つけ、自らの夢を叶えるため知識や技術だけでなく、人にやさしい心を養ってください。それぞれの分野のプロとして、そして女性としての人生をさらに広げてください。前進するあなたを、教職員一同が全力で応援します。

これも入学式でお伝えしましたが、これから大学生活においてまた、卒業後社会に出ていろいろ悩むことがあると思います。そんなときに、ぜひ一人で悩まないでください。何でも相談してください。もちろん、すべての悩みを私どもが解決できないかもしれませんが、しかし、自分の悩みを人に相談することで、悩みの本質を理解することができ、悩みを解決する糸口を見つかることがあります。また、悩みを自分ひとりのものにせず、他人と共有することで、孤独感が減り、気持ちが楽になります。他人に相談されることに慣れていない学生には、勇気のいることかもしれませんが、ぜひ私たちに声をかけてください。

そして、千里金蘭大学という学びのキャンパスを十分に活用し、希望に満ちた大学生活を満喫してください。そうなるように、私たちは全力で応援します。

千里金蘭大学後援会からのご挨拶

新入生の皆さん、そして保護者の皆さま、千里金蘭大学へのご入学、まことにおめでとうございます。また、在学生の保護者の皆さまには、日ごろより後援会活動へのご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

千里金蘭大学後援会は、保護者により組織され、学生支援を目的として、教育内容の強化、課外活動の充実、学生生活環境の整備などに向け、大学経営の財政的基盤の充実を保護者同士で支え合うことを主な役割としており、今年で設立9年目を迎えます。今年度も、全保護者のご入会をいただくことができ、感謝申し上げます。

今年度は大学開学20周年の節目の年となります。後援会では、昨年度、開学20周年記念事業積立金にて、3号館4階の机および椅子を315組購入し、学生の学修環境の整備を行いました。今年度は、通学の利便向上を図るべく、大学の最寄り駅から大学前までのバス回数券乗車制度に係る費用の一部補助を新規事業として行います。

コロナ禍におけるさまざまな規制が徐々に緩和されつつあるなか、後援会は、これからも学生の皆さんが安心して学生生活を送ることができる環境づくりに尽力して参る所存でございます。

保護者の皆さまにはご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

<https://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>

本学ホームページに後援会ページを開設しておりますので、ぜひご覧ください。

令和5(2023)年4月1日

千里金蘭大学 後援会会長 阿部 智子

学部・学科 MESSAGE

栄養学部 栄養学科

学部長メッセージ

栄養学部長・栄養学科長

鎌田 洋一

高い国家試験合格率と100%の就職率を誇ります。

2023年4月1日、生活科学部食物栄養学科は、「栄養学部栄養学科」に生まれ変わりました。「栄養」の言葉から、管理栄養士養成大学であることが明瞭になり、教員一同、学生教育に一段と真剣に取り組む誓いを新たにしました。

管理栄養士は、病気やケガ、手術後の人やアスリートのような特別な人たちの栄養指導・栄養管理が仕事です。そればかりではなく、食を通じて健康寿命を延ばすことを個人個人に、また社会全般にも働きかけます。

本学での管理栄養教育は開学以来20年の歴史が蓄積し、高い国家試験合格率100%の就職率を誇ります。卒業生は大規模病院で、個人病院で、給食施設で、老健施設で、薬局で、小・中学校で、食品企業で活躍しています。本学科教員は学生の皆さんに寄り添い、その成長を全力でサポートいたします。

学生の活動実績

大手弁当企業とコラボで「沖縄タコライス弁当」開発

4年生の上浦佳弥音さんは、大手弁当企業「味の吉川」でインターンシップを経験しました。コロナ禍の中、旅行に行けない日本人々に、「海を渡る旅行気分を味わってほしい」をコンセプトに、沖縄料理を参考にしてお弁当を開発しました。献立作成、栄養計算、原価計算と、企業の方と密着して沖縄タコライス弁当を作り上げ、販売まで至ることができました。



シカ肉ジビエカレーの開発とその販売

2年生科目の「実践ゼミ」では、野生のシカの肉を使ってカレーを開発しました。農作物の被害を起こす野生のシカを有効利用するため、シカ肉の利用が薦められていますが、シカ肉はクセがあり普及していません。心齋橋にある有名中華料理店とコラボし、「自然の恵みカレー」を開発しました。チキンベースのルーでシカ肉を煮込み、大人の味に仕上げました。大学の最寄り駅の「北千里駅」の物産展で販売したり、大学対抗カレーコンペに出場しました。シカ肉が高価なため販売価格が高くなったのが原因でしょうか、7校中4位の成績でした。



レトルト「吹田くわい」を開発

大学のある吹田市のイメージキャラクターの「すいたん」は、その名のとおり、吹田くわいから来ており、吹田の特産品です。「年1回の収穫、お正月料理でしか食べたことがない・・・」などの欠点を克服し、アク抜き不要で、いつでも食べられる吹田くわいを広めたいと考え、「実践ゼミ」参加の2年生2名はアイデアを絞り、吹田くわいのレトルト化を試みました。昆布だしに漬けてレトルトするだけで、半年以上保存が効き、アクもなく、直ちに喫食できるようになりました。開発したレトルト吹田くわいを吹田市民の方々に配布し、工夫を凝らした吹田くわい料理を作っていただき、市民と大学との交流もできました。



教育学部 教育学科

学部長メッセージ

教育学部長・教育学科長
島 善信

教育・保育を幅広い視野でとらえ、現場の求めに応えられる人材を育成していきます。

新入生並びに保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。これからのキャンパスライフへ希望いっぱいの皆さんにメッセージを送ります。

本年度より、「教育学部教育学科」として新たにスタートいたしました。教育・保育をいっそう幅広い視野でとらえ、体験活動を生かし知識・人間性・実践力を養い、保育・幼児教育コースと小学校教育コースで専門性を深めて、現場の求めに応えることのできる教育者・保育者を育成していきたいと考えています。金蘭おやこクラブ、保育所や幼稚園、小学校などで子どもたちといっぱい触れあってください。お互いに協力し合って活動することやじっくりと考えを深めることにチャレンジして「なりたい自分」を見つけ、創ってください。

さあ、子どもとともに成長できる教育・保育のプロへと、4年間の羽ばたきを始めましょう。皆さんの夢の実現を目指して、私たちは全力でサポートします。

学生の活動実績

目の前の子どもにあったものづくり

1年次の学生は、1年間を通して金蘭おやこクラブにおいて親子とふれあい、子どもの成長やちょっとした変化を学びます。おやこクラブの子どもは2歳児以下が多く、学生が企画するイベントや、一緒に遊ぶものをひとつとっても安全性が求められます。学生が作ったものを、その日の活動に使用したり、買い物ごっここの品物にしたりします。子どもたちが喜んで遊んだり選んだりするのを直接見ると、子どものために用意をする嬉しさを感じる学生たちです。



「優しいタッチ」を学ぶ体験学習

3年生子ども心理ゼミでは、ゲスト講師を迎えて、心と身体のつながりを促進するタッチケアについて学びました。優しく触れることによって赤ちゃんの発達も促進されます。まずは、自分の心身の状態を静かに感じていきました。そして、相手の身体に思いやり深く触れること、また、自分の身体に大切に触れてもらうことによって、どのような変化が生まれるか体験しました。いつもは賑やかな学生たちですが、じっくり体験を味わう姿が印象的でした。



コンピューターを活用した学び

小学校でもプログラミング教育が始まったように、子どもがひとり1台コンピューターを持ち、学校の現場でも多く活用されるようになってきました。情報ゼミでは、iPadなどでプログラミングを経験したり、デジタル教科書など最近の学校現場の状況を交えて、これからの学校について考えていきます。コンピューターが苦手な学生もいますが、まずは体験するところから始め、意見交換では思わぬ活用方法も飛び出しました。



看護学部 看護学科

学部長メッセージ

看護学部長・看護学科長
藤田 俱子

学生間の交流を深め、ともに学び、探究することで学生生活をより充実したものにしてほしい。

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。在学生の皆さん進級おめでとうございます。新しい季節とともに、新型コロナウイルス感染症の対策も少し緩和され、これまでできなかったことを思い切りやってみたいと考えている方もおられるのではと思います。

看護学科では病院などの医療機関での実習があるため、まだ少しさまざまな形での感染対策を講じていきます。これらの対策を通して医療職になる自覚を育ててもらいたいと思います。

一方で、学生間の交流を深め、大学生活をより充実したものにしてほしいと願っています。そして、大学での学修で大切なのは学生が自ら学ぶ姿勢です。友人とともに探求し学修する体験はとても素敵な思い出になっていきます。新年度が始まった今から、積極的に大学生活を楽しんでほしいと願っています。

学生の活動実績

台湾の大学生との交流を行いました

台湾の大仁科技大学の学生の皆さんと看護学部の学生4名がオンラインで交流をしました。自作の映像を使って、主に日本語で、英語も交えてコミュニケーションを取り、中国語で挨拶や自己紹介をした学生もいました。臨地実習などの大学の教育に関すること、アイドルやアニメ、食など日本の文化に関するなどを情報共有し、給与や配置などの看護師の仕事に関することも話題になりました。最後は話し足りないようで連絡先の交換をしていました。



「第7回スペシャルキッズサポーターの集い」の運営ボランティアに参加しました

学生5名が、「スペシャルキッズサポーターの集い」の運営ボランティアに参加し、設営や受付、誘導など、さまざまな場面で、笑顔でてきぱきと活動していました。運営側の配慮により、ときには講演を聴講させていただいたり、ワークに参加させていただいたりする時間もあり、魅力的な講演内容のメモを取りながら集中して聴いており、新しい学びを得ていました。来年もぜひ、ボランティアとして活動したいと申し出る学生が複数いました。



保健師活動の演習を行いました

保健師教育課程では、乳幼児健診の問診や新生児家庭訪問での体重測定などの保健師活動の演習を行いました。また、実習でも実際の訪問前に練習をして臨地に出ます。写真①は、1歳半健診の問診の演習です。幼児になじみのある「犬」など6つの絵で言葉の確認をします。1歳半の幼児に話しかけることも経験が少ない学生が、臨地で実際の健診で対応できるように練習しています。

写真②は、生後1か月のあかちゃんの訪問に行く前に、体重測定の練習を繰り返している様子です。乳児を抱く体験も少ない学生が、ばねばかりを用いて安全に3キログラムの乳児の体重を測定しています。人形でも本当の乳児と想定して臨みますので、かなり緊張しています。

写真①

写真②



看護学研究科

研究科長メッセージ

看護学研究科長
登喜 和江

教育研究活動がいよいよ始まりました。
全員が社会人、院生と教員、学部生との化学反応が楽しみです。

2023年4月1日に看護学研究科に4名の大学院生を迎えて、教育研究活動が開始されました。全員が仕事に就きながらの進学です。現場の風を大学に持ち込んでくれる院生たちによって、教員に、そして学部生にも刺激を与えてくれることと思います。

週に1日、慌ただしい現場を離れて「知」を探究する経験は、院生にとってリフレッシュの機会になり、現場での仕事も創造的にできるのではないのでしょうか。土曜日を中心としたカリキュラムで学び続ける院生と教員、院生と学部生、院生同士、どんな化学反応が起こるのか楽しみでもあります。



▲ 入学式当日、これから過ごす院生のお城で…。



▲ 院生研究室からの癒しの景色

部局 MESSAGE

学修・キャリア総合支援センター

センター長 岩谷 智



困難は分割せよ

大学生生活のなかで「困ったなあ」と感ずることがきつとあるはず。多くの場合、問題は複合的で、なにをどうすればいいか分からなくなるときもくるかもしれません。

井上ひさしに『握手』という短編小説があります。国語の教科書で習った人もいるかもしれません。そのなかに「仕事がうまく行かないときは、このことばを思い出してください。『困難は分割せよ』。焦ってはなりません。問題を細かく割って、人は一つひとつ地道に片付けて行くのです」というひとりの修道士の言葉があります。もともとはルネ・デカルトという哲学者の言葉です。「我思う、ゆえに我あり」で有名ですね。

私たちのセンターは、皆さんが学修と進路に困ったとき、一つひとつ片付けていくお手伝いをする場所です。なにかあればどうぞ気楽に3号館3階のセンターを訪ねてください。

付属図書館

付属図書館長 白木 公康

図書館に3つのコーナー設置

図書館には現在、3つの推薦書籍コーナーがありますが、皆さんご存じでしょうか？

島崎前学長から紹介いただいていた理事長推薦書籍コーナーと、各学科の先生方推薦の書籍コーナーを昨年度に設置し、今年度、島崎理事長の発案と先生方にも推薦いただきマンガコーナーを新たに設置致しました。漫画を教育研究する大学・学部ができるほど、日本文化に浸透しているマンガを通して、新たな知見を得ることができるのではないかと期待しています。

以上の登喜前図書館長の企画をはじめ、図書館のあり方や使い方について学生、教職員の方々からのご意見をいただき、より良き図書館としていきたいと思っています。



理事長推薦コーナー



学科の先生方推薦コーナー



漫画コーナー

研究推進・社会連携センター

センター長 石川 秀明

「吹田市民大学講座」について

地域の高等教育機関として、本学で取り組んでいる教育・研究成果を公開し、生涯教育の場を提供する目的で、吹田市と連携して「生涯学習吹田市民大学 千里金蘭大学キャンパス講座」を実施しており、昨年は11月に4回の講座を開催し、たくさんの市民の方にご参加いただきました。

講演のテーマは「いのち けんこう そだち」として、食生活の見直し、児童虐待、健やかな暮らし方、出産と平安時代の文学などについて講演を行いました。



教学センター

3号館4階トイレをリニューアルしました。

令和5(2023)年4月より、3号館4階トイレおよびパウダールームをリニューアルしました。グレーと白を基調とした明るく清潔感のあるパウダールームには、照明付きの鏡と椅子が4つ備わっており、ゆっくり身支度をしていただくことができるようになりました。

授業終了後、このパウダールームでリフレッシュして、次の授業に臨めるような空間になればと思います。また、4階の教室の机と椅子が新しく使いやすいものになりました。これからも学生の皆さんの意見を取り入れた快適な学修環境の整備を行ってまいります。



アドミッションセンター

学生の皆さんの魅力が伝わるイベントに

学生の皆さん、いつもオープンキャンパスの運営にご協力いただきまして、ありがとうございます。皆さんのお力添えのおかげで、皆さんが中心となったイベントの運営をすることができております。また、来場者からは「学生の皆さんがとても優しく案内をしてくれた。」「たくさんお話しができて楽しかった。」などの声をいただいております。皆さんを通して本学の魅力を感じていただけるオープンキャンパスが開催できております。

2023年度も皆さんの魅力が来場者に伝わるイベントの開催を目指してまいります。引き続きご協力をお願いいたします。



Seminar
ゼミ探訪 vol. 16
看護学科
クリティカルケア
看護研究ゼミ



平尾 明美 教授

臨床の現場につながる疑問を 解決するために…。

クリティカルケア看護研究ゼミでは、周術期、集中治療室、救急初療室などで行われる患者・家族看護や災害看護に関することを主なテーマとしており、研究を通して看護実践を学びます。

今までにこのゼミを希望した学生のテーマは、実習の時に感じた術後患者さんの行動パターンについての疑問や手術時の痛み、疼痛緩和に関すること、文献や授業で知った災害急性期に携わる看護師らのモチベーションについて、フライトナースになるための教育にはどのような内容のことが必要か、コロナ禍では、面会制限中の医療従事者による病状説明と家族の不安の関係性などさまざまでした。学生は、自らの臨地実習での経験やこれから自分の希望する臨床の場につながる疑問を解決しようとし、ゼミでは解決に向けての一步として文献を網羅的に読み進め、またそこから生じた疑問を深く追求していきます。その過程で仲間である学生からの質問にこたえることで、また自ら問い直しをしていきます。この作業を幾度か繰り返すことで学生の疑問は、研究目的へと変わり、芯の通った研究テーマとなります。そのときに学生の見せる自信のついた表情は、初期の不安な表情から一変しています。

コロナ禍の中のゼミであり、感染拡大傾向のときにはweb上で行うこともありましたが、可能な限り三密を避け大学でゼミを行いました。学生にとって大学の図書館で調べ物をすることも重要でした。実習中には書籍の参考が多かったのですが、研究ゼミになると、文献を読み込むということを修得しました。

仕事に就いて間もない今は仕事に慣れることに時間がかかるかも知れませんが、知見の宝庫である文献を読み込むことのおもしろさに、また触れてもらいたいと考えています。



student's message

ゼミ生メッセージ

病院で看護助手のアルバイトを行っていた際に、術後せん妄で見当障害がみられる患者さんに出会いました。術後せん妄予防につながる看護ケアを考え、日付感覚の維持に着目した研究に取り組みました。特に、データの収集方法の検討では、臨床の場を想定するのに困難がありましたが、先生や同ゼミの学生からの助言もあり、研究を進めることができました。研究に取り組み先行研究を調べる上で得られた知識を、今後も臨床の場で活かしていきたいと考えます。

伊藤 万琴 さん

私は実習中に感じた疑問から、看護師が自信を持って疼痛評価を行うための要因について研究しました。研究目的や明らかにしたい事柄の背景について考えている段階では、現時点で何が明らかにされており自分は何を明らかにしたいのかが分からなくなってしまうこともありましたが、ゼミ生との質疑応答や先生の助言を通して、文献を読むことでそれらを自分の研究に落としこむことができようになり、エビデンスをもとにした看護提供の重要性も学ぶことができました。

勇我 玲菜 さん

CLUB Activities

クラブ紹介



金蘭フィルハーモニー部

私たち金フィルこと金蘭フィルハーモニーは、3年生4人、2年生2人の計6人で活動しています。少人数だからこそ全員が仲良く、楽しく週2回練習をしています。金フィルの主な活動内容は、学内外のさまざまなイベントに参加することです。少人数なので、たくさんの楽器に触れて楽しく体験でき、楽器未経験者でも大歓迎です！また、とても充実した学校生活を送ることができるのでぜひ入部をお待ちしています！



バレーボール部



2023年3月 卒業
吉田 真奈

2022年関西大学バレーボール連盟
春季リーグ戦「ベストリベロ賞」・
秋季リーグ戦「ベストリベロ賞」を受賞
現在、V1リーグ「ヴィクトリーナ姫路」所属
(本学初となるプロ契約を締結)

卓球部

2023年3月 卒業
立麻 望月

2022年大分県の地区大会(女子シングル)
優勝
2023年全国卓球選手権大会(一般の部)
出場権獲得



強化クラブ秋季リーグ結果

- バレーボール部
2022年度関西大学バレーボール連盟 秋季リーグ戦
1部リーグ 6位
- ソフトテニス部
2022年度関西学生ソフトテニス 秋季リーグ戦
4部リーグ 1位
- 卓球部
2022年度 関西学生卓球 秋季リーグ戦
2部リーグ 4位

手話サークル



看護学部の土井教授ご指導のもと、看護学部2年生6名で週に1回程度活動しています。地域や他大学との交流、大学祭への出展など実践的に手話を使うことができるイベントを計画中です。例えば手話で「漫画」は「面白い本」と表すなど、手話の成り立ちを学ぶと手話の面白さや奥深さを感じられます。いつか聴覚障害の方と手話で繋がりたい、という想いを胸に日々練習に励んでいます。現在、学部学年問わず新入部員を募集中です。また、当サークルをより多くの方に知っていただき、温かいご支援を賜りますよう部員一同心よりお願い申し上げます。

令和4(2022)年度 学位授与式報告

3月15日(水)に、佐藤記念講堂において令和4(2022)年度学位授与式が執り行われました。始めに、食物栄養学科60名、児童教育学科58名、看護学科97名、計215名の卒業生を代表して各学科の総代が登壇し、福島学長から学位記が授与されました。

続いて、4年間を通じて最も成績が優秀であった学生に与えられる「商議員賞」、学業を含めスポーツや社会貢献に優れた活動に取り組んだ学生に対して与えられる「佐藤賞」の授与が行われました。関係団体各賞・記念品の授与は右記のとおりです。

福島学長からの式辞、島崎理事長からの祝辞に続いて、門出の誓いとして、各学科の代表から、4年間学生生活を支えていただいた方々への感謝の気持ちと今後の抱負が述べられました。

4年ぶりに保護者の皆さまおよび来賓の方々にお越しいただいての開催となり、賑やかな学位授与式となりました。

卒業生の皆さん、この度はご卒業おめでとうございます。

皆さんの今後のご活躍を、本学教職員一同祈念いたしております。

学科	食物栄養学科	児童教育学科	看護学科
総代・商議員賞	中筋 未来 さん	西川 史織 さん	岡 杏実 さん
佐藤賞	濱脇 吹優 さん	垣本 真衣 さん	源田 渚 さん
関係団体各賞授与	宇佐美 綾乃 さん (全国栄養士養成施設協会)	松田 果子 さん (全国保育士養成協議会会長賞)	勇我 玲菜 さん (日本私立看護系大学協会)
	ハツ橋 涼花 さん (日本フードスペシャリスト協会)		楠 明香里 さん (大阪府看護協会会長賞)
門出の誓い	實 美鈴 さん	中川 紀実 さん	中本 愛奏 さん



令和5(2023)年度入学式報告

令和5(2023)年度千里金蘭大学・大学院入学式が4月1日(土)に佐藤記念講堂で執り行われました。

栄養学部栄養学科69名、生活科学部食物栄養学科3名(3年次編入学)、教育学部教育学科41名、看護学部看護学科106名、計219名の学部生および大学院看護学研究科4名の大学院生が希望を胸に学生生活の新たな第一歩を踏み出しました。

厳粛な雰囲気の中で式が挙行され、看護学研究科・大畑百美枝さん、栄養学部栄養学科・尾上真愛さん、教育学部教育学科・江崎桃霞さん、看護学部看護学科・福島咲智さんによる新入生代表宣誓が行われました。

続いて福島学長式辞、島崎理事長祝辞などがあり、新入生たちは改めて気持ちを引き締めている様子でした。今年度の入学式は、4年ぶりに保護者の皆さま、来賓の方々をお招きしての開催となりました。当日は天候に恵まれ、桜も満開を迎える中、キャンパス内では新入生の晴れやかな笑顔であふれました。

千里金蘭大学に入学されました新入生の皆さま、ご家族の皆さま、おめでとうございます。

新任教員
紹介

栄養学部 栄養学科



井上 善文 教授

- ① 博士(医学)
- ② 臨床栄養学
- ③ 臨床医学、臨床栄養学
- ④ 臨床の現場で行われている最先端の栄養管理の内容・実態を伝えたい。



梅本 真美 准教授

- ① 修士(経済学)
- ② 給食経営管理
- ③ 給食経営管理論Ⅰ
- ④ 食事は人生の楽しみのひとつです。楽しく学び、輝ける管理栄養士を目指そう。



藤田 和代 講師

- ① 博士(理学)
- ② リン脂質ナノ粒子によって誘導される哺乳動物細胞の応答
- ③ 基礎栄養学
- ④ 精一杯頑張りたいと思います。

- ① 学位
- ② 研究テーマ(専門分野)
- ③ 千里金蘭大学での主な担当科目
- ④ 千里金蘭大学での抱負



伊藤 章悟 助手

- ① 博士(栄養学)
- ② 生化学
- ③ 基礎栄養学実験
- ④ 実験実習を通して、食・栄養への関心をより高めてもらえるよう努めます。

教育学部 教育学科



中根 佳江 講師

- ① 修士(教育学)
- ② 幼児教育学(表現・音楽・野外活動)
- ③ 保育内容(音楽)
- ④ 身体で感じて、考えて、そして表現できるように、一緒に楽しく頑張りましょう!



小柳 亜季 助教

- ① 修士(教育学)
- ② 教育方法学
- ③ 教育課程論
- ④ 楽しく学び続けられる教師を目指して、ともに励んでいきましょう!

看護学部 看護学科



小林 麻衣 講師

- ① 博士(看護学)
- ② 看護教育学
- ③ 基礎看護技術演習
- ④ 看護の対象となる方へのより良い看護を一緒に探求していきましょう。



森木 友紀 講師

- ① 博士(看護学)
- ② 老年看護、アドバンスケアプランニング
- ③ 老年看護援助論
- ④ 実践に向け、友と学び、ゴールしましょう。



前田 晃史 講師

- ① 修士(看護学)
- ② 救急看護
- ③ 成人看護学Ⅰ
- ④ 患者さんの救命だけでなくQOLを考えた救急看護を一緒に考えたいと思います。



藤田 美穂 助教

- ① 修士(医療安全管理学)
- ② 看護教育、医療安全学
- ③ 基礎看護技術演習
- ④ 学生さんとともに看護について考え、成長していきたいです。



杉本 明子 助教

- ① 修士(看護学)
- ② フリティカルケア看護学
- ③ 成人看護援助論演習
- ④ 学生の皆さんとともに考え学び、成長していきたいです。



野崎 志津 助手

- ② PBL対話的事例シナリオ教育(臨床教育学)
- ③ 公衆衛生看護活動論Ⅰ、公衆衛生看護方法論演習Ⅱ
- ④ 行政保健師としての実践知を活かしながら、学生の探求心を引き出せるような教育を心掛けたと思っています。